

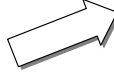
備前市 事務事業 評価表

事業の概要		コード	06-01-01-03
事務事業名	公共施設管理運営見直し事業 （「民間委託等推進事業」から名称変更）	根拠法令・要綱等	地方自治法 備前市の施設の指定管理者の指定の 等に関する条例等
事業開始年度	平成17年度～	問合せ先	担当課（室） 財政課 職・氏名 行政改革係長 中野新吾 電話 64-1872
総合計画	大項目 基本目標	健全で自立したまちづくり	
	中項目 基本施策	簡素で効率的な行政運営	
	小項目 施策	行政運営改革	

事業の実施	
対象 （誰・何に対して）	公共施設及びその利用者
目的 （何のために）	市内の適正な公共施設配置と、年々増加し財政の圧迫要因となっている維持管理経費の削減
行政活動 （どのような方法で）	公共施設の設置目的や運営主体の適否などを含めた施設のあり方や効率的な運営方策、利用率の向上策等を検討し、類似施設の廃止、統合、地域への移管（合併効果の実現）、利用率の低い施設の閉鎖、売渡、用途変更等、市が行政サービスとして行う必要性の低い施設及び民間と競合する施設の民営化（譲渡）、閉鎖その他、存続施設については、指定管理者制度の導入、委託業務の拡大等、将来の方向性を定める。
事業の意図する成果 （どのような状態にしたいのか）	経常経費削減と、存続施設でのサービス向上による利用率の増加

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	指定管理者制度導入方針策定		件	1	-	1
	施設別次期指定管理者制度導入協議施設		施設	-	-	67
	指定管理者候補者選定委員会		回	6	2	6
	次期指定管理者制度導入意向調査		施設	-	-	63
	指定管理者制度に関する支援業務		件	62	2	3
	管理運営の見直し検討施設		施設	-	-	84
	直接事業費			0	0	0
	人件費		千円	4,570	760	2,174
	事業費計			4,570	760	2,174
財源	国県支出金					
	受益者負担					
	一般財源		千円	4,570	760	2,174
必要人員		人	0.90	0.08	0.25	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	この事業は年度により取組が変わります			指定管理者制度導入施設数	指定管理者制度導入施設数	次期指定管理者制度導入協議施設数
	結果指標量	施設		62	2	67
	対前年比	%		-	3.2%	-
	活動コスト	円		4,570,000	38,000	1,245,000
	単位当たりコスト	円		73,710	19,000	18,582
結果指標	この事業は年度により取組が変わります		説明	公の施設の管理運営の見直し調査件数	管理運営の見直し検討施設数	
	結果指標量	施設		42	84	
	対前年比	%		-	-	
	活動コスト	円		722,000	929,000	
	単位当たりコスト	円		17,190	11,060	

事業の成果			
成果指標名	A：管理運営の見直しが決定した施設数 B：次期管理者は公募によることとした施設数	式又は説明	いずれも指定管理者候補者選定委員会で方向性が出されたもの A：維持管理経費の節減が期待できる B：市民サービス向上と利用率増加が期待できる
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	この事業は年度により取組が変わります		
	A：8施設 B：21施設		
到達目標値	対象とする目標も毎年変わります	到達目標年度	指定管理者制度導入施設数、管理運営見直し決定施設数となる予定



事業の目的、対象、内容、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である（法律・政省令） <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E>	A
	課題認識	公共施設の維持管理経費全体は年々ふえ、財政悪化の要因となっている施設の適正配置等による維持管理経費削減、また、存続させる施設での市民サービス向上・利用率増加のため欠かせない事業である 指定管理者を公募することになると市の出資法人も競争にさらされることとなる	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	市との関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である
	効率性の評価		<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある
職	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業に關して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度		<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A-E>	D
	課題認識	次期指定管理者制度導入施設の協議では、担当部署から見直しへの積極的な提案が少なかった 危機的財政状況の中、利用状況、本来市が行政サービスとして存続させるべき施設が等の議論があまりなされないまま制度導入（施設存続）が決定したのももある	

平成20年度の状況				
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説 明	次期指定管理者候補者の選定の年であり、導入支援として、モデルとなる募集要項、業務仕様書、年度協定書を作成し、関係部署に配付、公募は7月から行う 地元住民組織以外に指定管理者が考えられない施設について、条例改正により手続の簡略化を予定	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	制度導入施設数 59	結果指標量	管理運営の見直し検討施設数 211
	成果指標量	制度導入施設数 59		管理運営の見直し決定施設数 16

総合評価		評価区分 <A-E>	D	
施設の維持管理経費は年々ふえ、財政悪化の要因の一つとなっているため、的確な対応をしなければならないが、施設の設置目的、類似施設の整備状況、社会経済情勢の変化、施設の利用状況等を踏まえ、市が引き続き当該施設を設置する必要があるのかどうかについての検証が足りない （仮称）財政再生プラン策定においては、次期指定管理者制度導入施設も含めてこの検証をやり直すこととする（協議により指定期間中の指定解除も可能なため）				

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果